

## 2.3 被災地の図書館をクラウドで復旧支援(株式会社富士通システムズ・イースト)

### 〔概要〕

WebiLis（ウェブアイリス）は、富士通のデータセンターから図書館業務支援ソフトウェアをインターネット経由で提供するクラウド型サービスです。図書館では、サーバを保有することなく「貸出管理」「返却管理」「予約管理」「目録登録」などを行う業務システムや、利用者がインターネットから検索・予約できる機能を有したICTシステム環境を構築することができます。

このたびの東日本大震災に対して、岩手県沿岸部の被災地域の図書館様に対して「WebiLis」の無償提供と導入、運用支援を行っております。

### 〔コラム〕

対象は大槌町、野田村、山田町の3自治体の公共図書館様で、震災により建物の破壊や蔵書が泥や海水をかぶったり、流失するといった被害を受けています。各自治体や企業・団体により本の寄贈などの支援活動が行われておりますが、管理ができないため図書館としての機能が果たせない状況となっていました。

こうした状況を踏まえ、当社では、素早く業務開始が可能な「WebiLis」を復旧までの期間、無償提供することを決定しました。



## 2. 被災地域におけるICT利活用の取組事例の紹介

大槌町様では、資料データの登録作業が一段落し、2012年6月1日から町中央公民館内に「城山図書室」をオープン、利用者への貸出業務を開始しました。寄贈された移動図書館車両で仮設住宅などを訪問し、図書の貸出を行うなど、順調に運用を再開しています。今後、図書室に入りきらない図書を収納している「小鎌分館」でも貸出業務を行う予定です。分館ではネットワーク環境が整っていないため、「オンライン貸出」システムを活用する予定です。

一方、野田村様では、庁舎内の会議室で資料登録作業を行っていましたが、人員が1名しか確保できず、登録がなかなか進んでおりませんでした。その状況を知った盛岡大学様が、ボランティアで資料データの登録作業をして下さることとなりました。その際、盛岡大学様のキャンパス内にパソコンを2台設置し、100km以上離れた遠隔地から作業を行うという、クラウドならではの作業形態をとることができました。その後、資料データの登録は順調に進み、図書館の建物の復旧工事が完了した2012年5月12日に図書館をオープンしました。しかし、図書館のネットワークの復旧のめどが立っておらず、新規の図書データの登録は引き続き庁舎内会議室で実施し、図書館での利用者への貸出業務などは従来通りの手作業で実施している状況です。

山田町様では、システムでは資料の管理のみを行い、貸出業務は従来通りの手作業で行うという予定でスタートしました。現在は、資料の遡及データの登録作業はほぼ完了し、新規購入分のデータは、図書販売業者から装備された本とともに納入されたデータを一括登録するなど、システムを活用いただいております。今後、貸出業務もシステムで運用する方向で検討を始めています。

## (問い合わせ先)

株式会社 富士通システムズ・イースト  
公共ソリューション本部 第三公共事業部 図書館ソリューション部  
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通2-11-12 明治中央通ビル2階  
電話:019-624-8331/FAX:019-624-8345  
E-Mail:ogawa-y@jp.fujitsu.com